証券コード：5401

NIPPON STEEL

2026年度2Q決算説明会

2026年11月5日

日本製鉄株式会社

・特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値、当期利益は親会社の所有者に帰属する当期利益。
・本資料中の実力ベース連結事業利益において「国内」とは、「単独製鉄事業」「鉄グループ会社」「非鉄３社」であり、「海外」とは、「海外製鉄事業」「原料事業」を指す。

概況

足元の事業環境を踏まえた2026年度見込み

◆国内事業は、**原燃料価格のさらなる上昇に対する紐付き分野での価格反映の時期ずれ**に加え、台風・豪雨影響等により、厳しい状況が継続
そうした中、下期は**さらなる追加値上げも含めた価格反映、台風・豪雨影響（生産出荷）のリカバリー**を強力に推進

⇒P17

◆海外事業は、米国市場の有望性を見据えた**U. S. Steel買収**による**地産地消型事業の強化が奏功。U. S. Steelがグループの稼ぎ頭として当社業績を力強く牽引。U. S. Steelは2026年度の実力ベース事業利益2,300億円以上***を見込んでおり、**2030年度の目標3,000億円以上を早期に実現すべく、収益改善施策に継続取組み中**

⇒P7

◆結果、2026年度は**前回公表を上回る実力ベース事業利益7,700億円**（対前回公表＋700億円。上期3,133億円、下期4,567億円）**以上の確保**を図る

⇒P4-6

◆特に下期については、年率**9,000億円以上**を確保し、2027年度以降のさらなる海外事業収益拡大等により**1兆円規模への成長に向けた確固たる基盤を構築**する

⇒P15

U. S. Steel・NSSK 利益成長に向けた取り組み

◆**モンバレー製鉄所において熱延設備新設（約30億ドル）を決定**
米国における戦略的投資は累計約67億ドルを成案化
2026年度に3億ドル/年を見込む操業シナジー発揮は順調に進捗

⇒P22-26

◆**スロバキアのNSSKで電炉新設を決定。欧州気候変動政策への対応として欧州での当社グループの脱炭素・成長戦略を加速**

⇒P27-28

＊NSSK（Nippon Steel Slovakia）を含む

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

目次

1．2026年度2Q実績および2026年度見通し

2．2026年度の取り組み
（2030中長期経営計画実行状況）

・国内事業（単独製鉄事業・鉄グループ会社・非鉄３社）
・海外事業（海外製鉄事業・原料事業）

3．カーボンニュートラルビジョン2050関連

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

2026年度 実力ベース連結事業利益見通し

◆上期：国内中心に中東影響に加え台風・豪雨等の影響を受けたものの、全事業分野における収益改善努力により、前回公表を上回る3,133億円（対前回見通し+633億円）を確保。単独製鉄事業は上期黒字化。

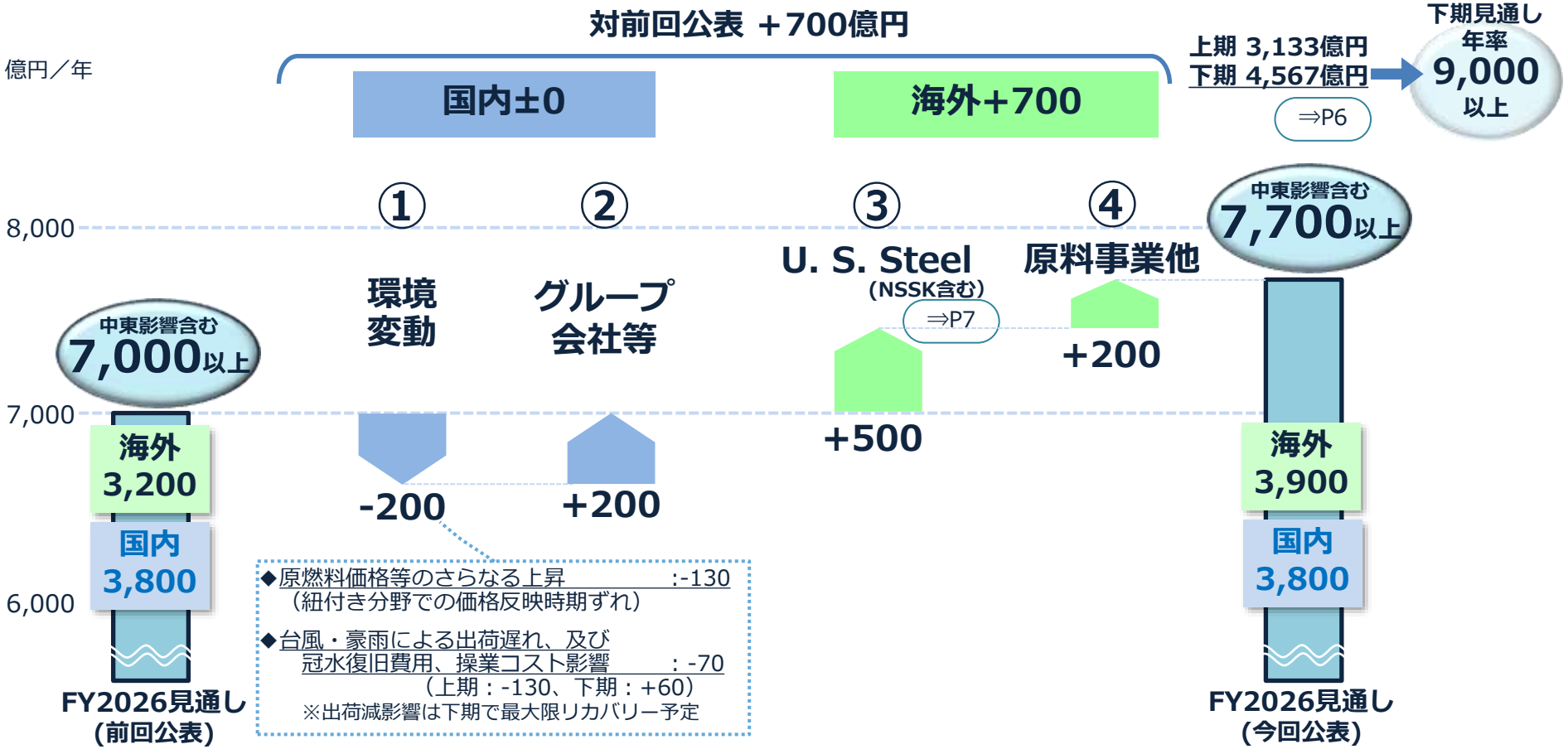
◆年度：**U. S. Steel（NSSK含む）が好調な需給環境を背景に2,300億円（対前回見通し+500億円）と当社グループの収益を牽引**。原料高に伴い原料事業も増益。幅と厚みを追求する戦略が奏功した結果、**2026年度は7,700億円**（国内3,800億円、海外3,900億円）**（対前回見通し+700億円）**を見込む。

単位：億円	2025年度実績	1Q実績	2Q実績	上期実績	対8/4見通し	下期見通し	2026年度見通し	対8/4見通し	上期→下期	対2025年度
売上収益	100,632	28,211	30,229	58,441	+2,441	58,559	117,000	+5,000	+118	+16,368
実力ベース連結事業利益	6,504	1,084	**2,050**	**3,133**	+633	**4,567**	**7,700**以上	+700	+1,433	+1,196
国 内	5,276	471	**981**	**1,452**	+452	**2,348**	**3,800**	~	+895	-1,476
単独製鉄事業	2,465	▲124	**261**	**137**	+137	**863**	**1,000**	-200	+726	-1,465
鉄グループ会社	1,838	390	**422**	**811**	+211	**889**	**1,700**	+100	+78	-138
非鉄３社	906	205	**283**	**488**	+68	**562**	**1,050**	+50	+74	+144
海 外	1,228	613	**1,069**	**1,681**	+181	**2,219**	**3,900**	+700	+538	+2,672
海外製鉄事業	384	385	**762**	**1,147**	+97	**1,653**	**2,800**	+450	+507	+2,416
ウチU. S. Steel(NSSK含む)	*▲56*	*322*	***668***	***990***	*+90*	***1,310***	***2,300***以上	*+500*	*+320*	*+2,356*
原料事業	844	228	**306**	**534**	+84	**566**	**1,100**	+250	+32	+256
連結粗鋼生産量（万t）	5,048	1,426	1,429	2,855	+5	2,950	5,800	~	+95	+752
単独粗鋼生産量（万t）	3,388	851	871	1,722	-28	1,780	3,500	~	+58	+112
鋼材出荷量（万t）	3,116	753	772	1,525	-25	1,630	3,150	~	+105	+34
為替レート(円/$)	150	160	161	160	~	160	160	~	~	10円安

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

2026年度実力利益見通し　前回公表時からの変動

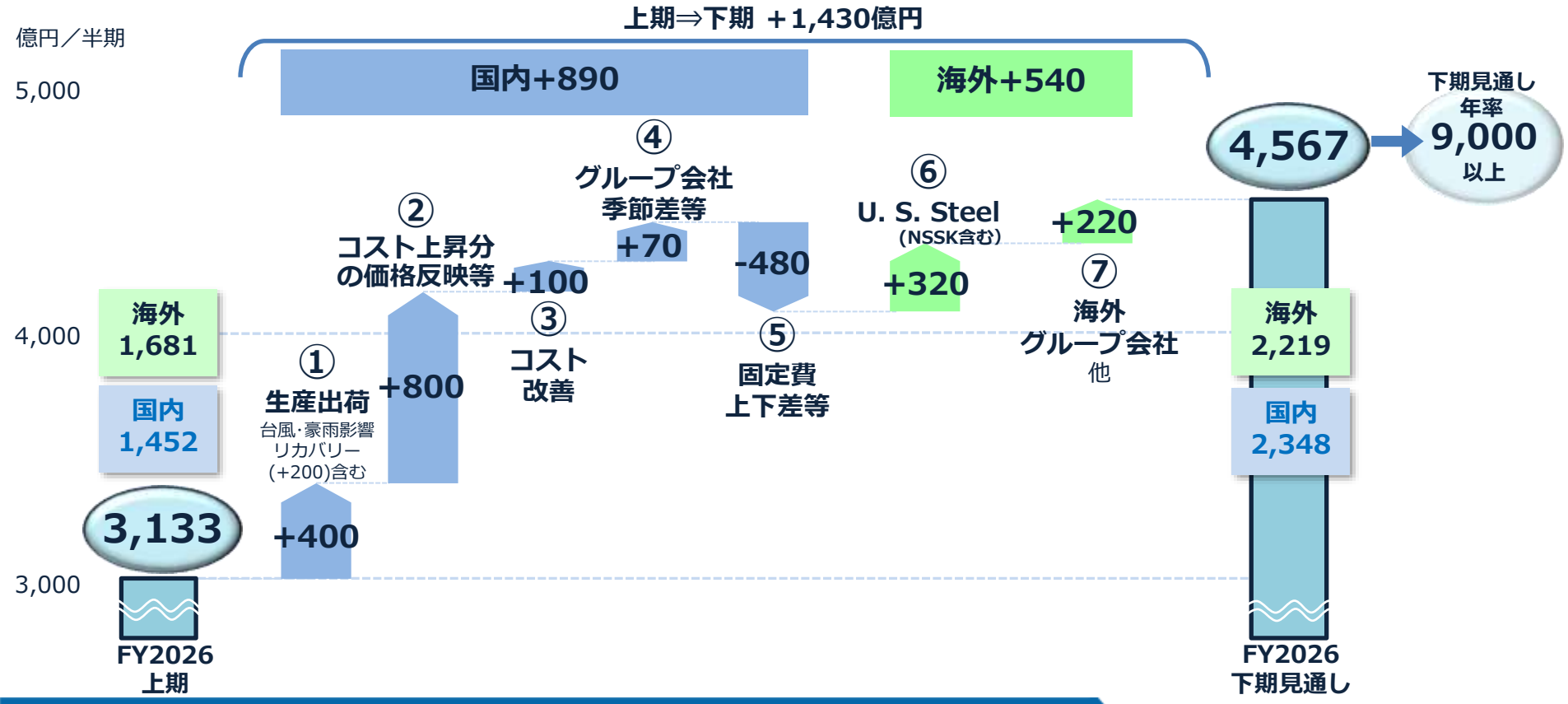
①**環境変動**　：国内向け拡販・品種構成改善を推進するも、原燃料価格のさらなる上昇に対する紐付き分野での価格反映の時期ずれ(-130)、台風・豪雨影響等(-70) により悪化
②**グループ会社等**　：一貫での値上げ完遂・早期浸透、コスト削減の徹底　等
③**U. S. Steel**(NSSK含む)　：鋼材市況高位継続
④**原料事業他**　：原料炭高騰による増益（単独製鉄事業のコスト上昇を緩和）



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

2026年度実力利益見通し　上期から下期への変動

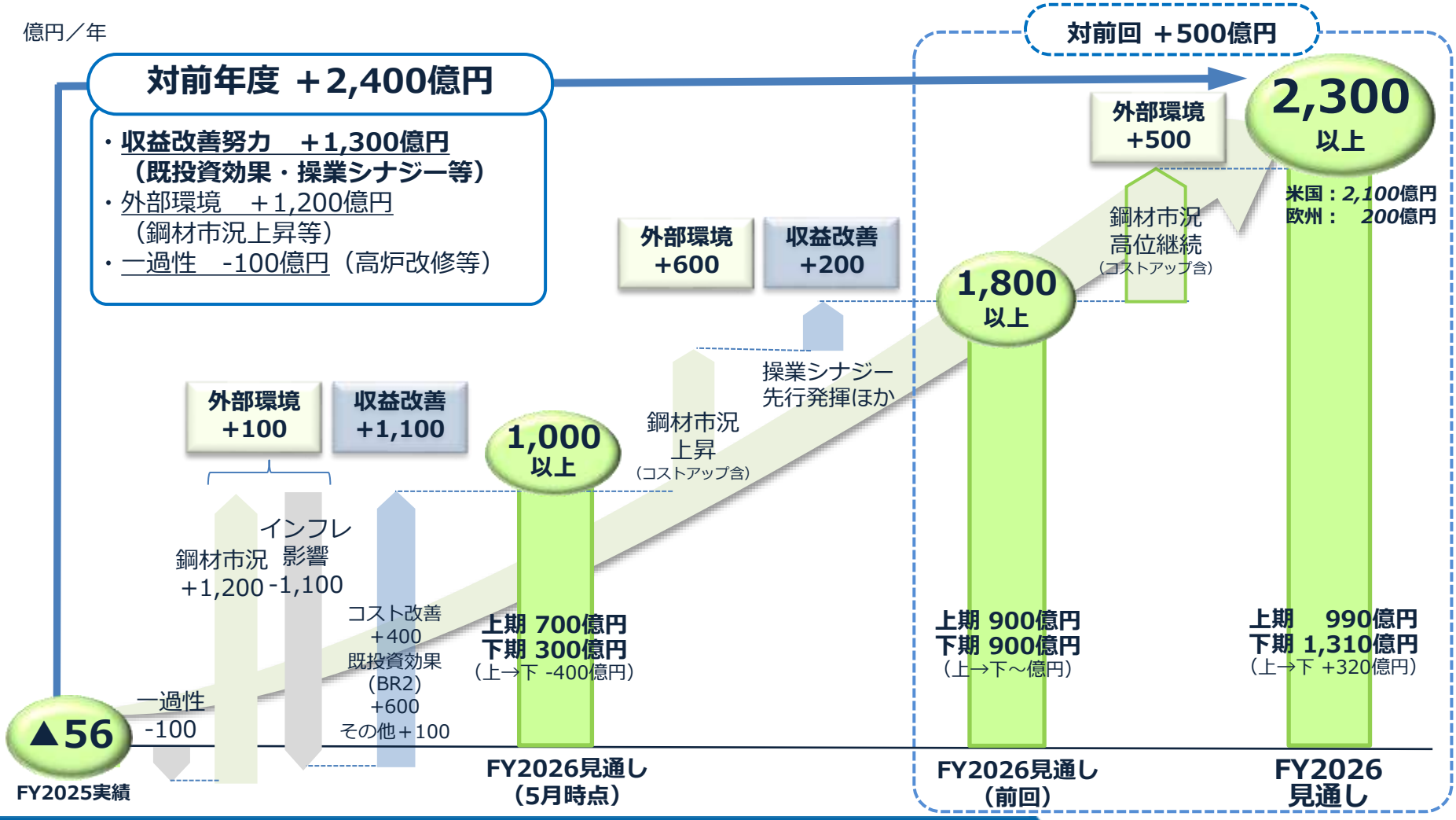
①生産出荷	：国内活動水準戻り、台風･豪雨影響のリカバリー 等
②コスト上昇分の価格反映等	：原燃料価格上昇分の紐付分野での価格反映、国内市況分野の値上げ浸透 等
③コスト改善	：名古屋新熱延立ち上げ効果　等
④グループ会社季節差等	：鉄グループ会社（+20）、非鉄３社（+50）
⑤固定費上下差等	：工事実施段差（修繕費等）　等
⑥U. S. Steel (NSSK含む)	：鋼材市況続伸下における確実な需要捕捉と操業シナジー進展
⑦海外グループ会社他	：AM/NS Indiaのマージン改善・品種高度化 等



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

業績 U. S. Steel(NSSK含む) 2026年度実力利益見通し

◆**2026年度実力利益見通し**は、鋼材市況高位継続下における確実な需要捕捉等により、**前回を上回る（＋500億円）2,300億円以上を見込む**
◆**2030年度の目標3,000億円以上を早期に実現すべく、収益改善施策に継続取組み中**

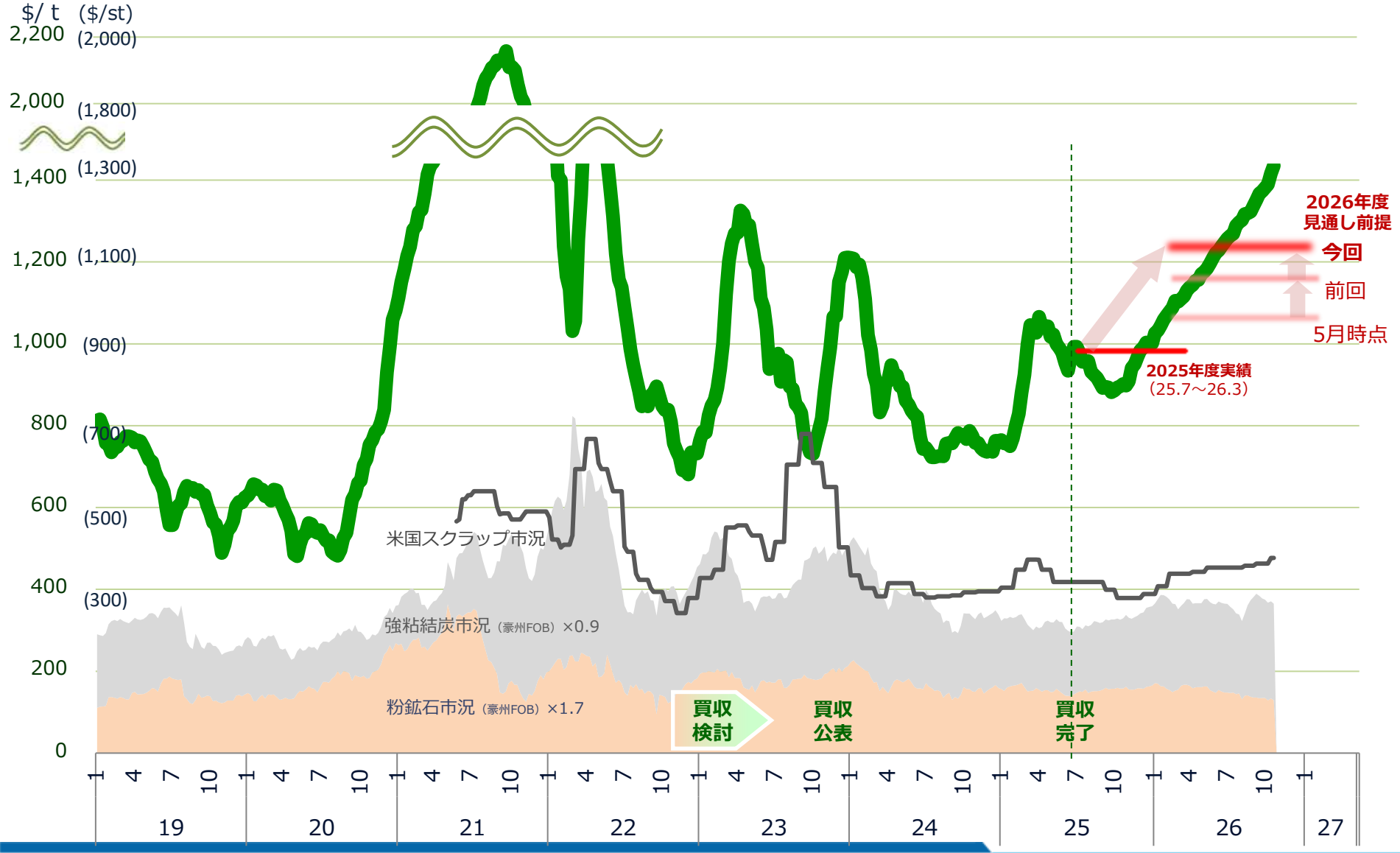


※2025年度より連結開始：2025.7月～2026.3月の9ヶ月、2026年度より4月～翌年3月の12ヶ月連結

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

米国鉄鋼事業環境　鋼材市況

2025年末以降、米国ホットコイル市況は続伸し高位継続



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

業績
〔当期利益〕

2026年度 事業利益・当期利益見通し

◆**事業利益：**実力ベース事業利益増（対前回+700億円）や原燃料コストの上昇等による在庫評価差益の拡大（同+100億円）等もあり、**7,200億円（同+900億円）**

◆**当期利益：**上記に加え、U. S. Steelでの設備投資に係る税額控除の一過性影響**（+961億円）**もあり**4,400億円（同+1,500億円）**

単位：億円	2025年度 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	下期 見通し	2026年度 見通し	対8/4 見通し	上期→下期	対2025年度
売上収益	100,632	28,211	30,229	58,441	58,559	117,000	+5,000	+118	+16,368
実力ベース 連結事業利益	6,504	1,084	**2,050**	**3,133**	**4,567**	**7,700** 以上	+700	+1,433	+1,196
在庫評価差	▲432	502	237	740	160	900	+100	-579	+1,332
営業外･連結調整等	▲931	▲131	▲668	▲799	▲601	▲1,400	+100	+198	-469
連結事業利益	5,141	1,455	**1,619**	**3,074**	**4,126**	**7,200**	+900	+1,052	+2,059
ROS	5.1%	5.2%	5.4%	5.3%	7.0%	6.2%	+0.5%	+1.8%	+1.0%
個別開示項目	▲2,712	-	-	-	▲400	▲400	-100	-400	+2,312
金融費用・収益※1	▲701	▲316	▲287	▲604					
当期利益※2	171	752	1,878	2,629	1,771	**4,400**	+1,500※3	-858	+4,229
EPS	3	14	36	50	34	84	+29	-16	+81

※1：見通しは非開示
※2：親会社の所有者に帰属する当期利益

※3：U. S. SteelでのBig River 2の電炉投資に係るアーカンソー州税額控除の一過性影響（+961億円）を含む。（繰延税金資産／税金費用減として一括計上。キャッシュ効果は2026年度は発現せず、将来にわたり長期に発現）

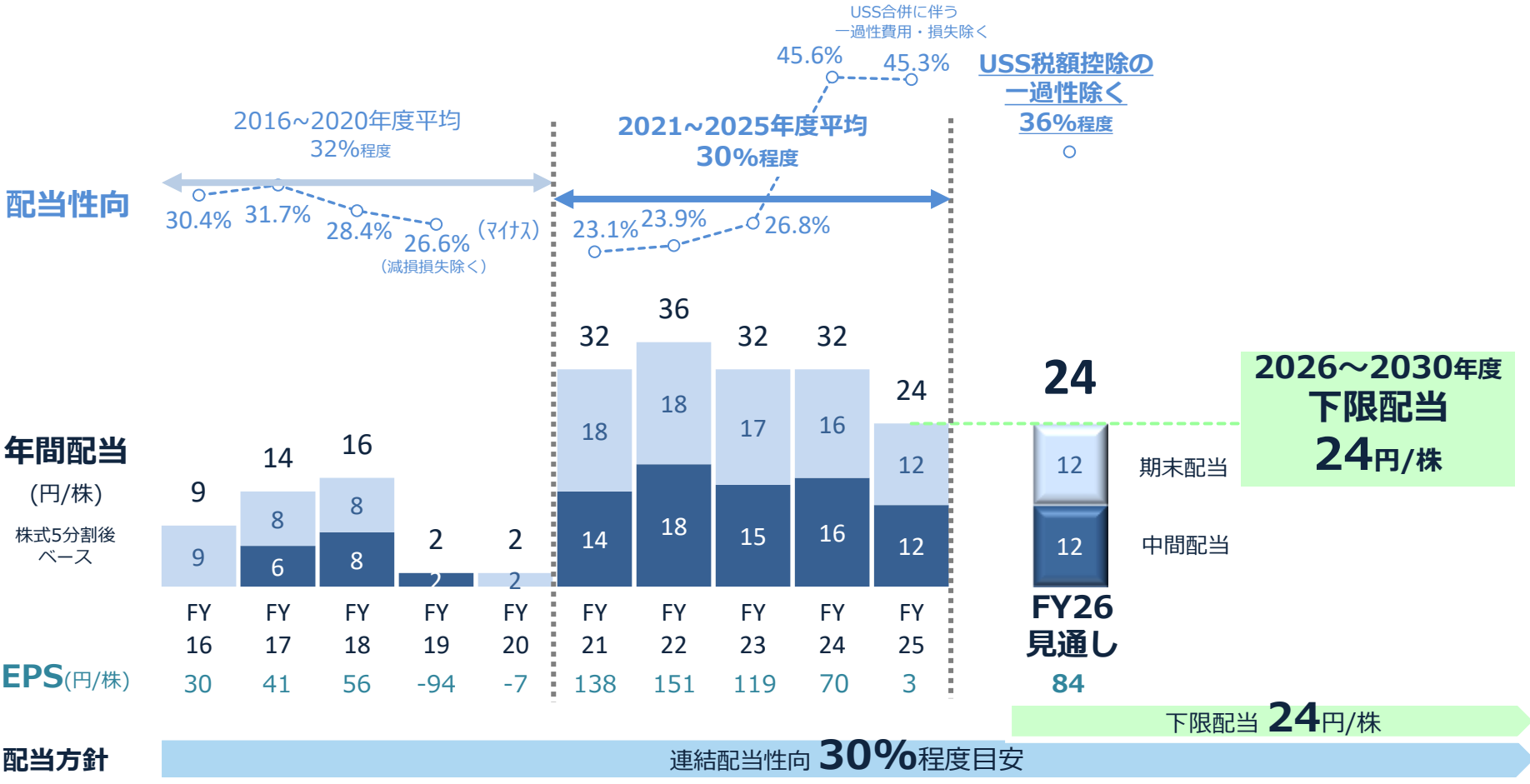
© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

業績
〔株主還元〕

2026年度配当見通し

◆ **2030中長期経営計画（2026～2030年度）**
：従前の配当方針（配当性向30%程度目安）を継続しつつ **下限配当（24円/株）を導入**

◆ **2026年度の配当**
：**前回公表どおり1株につき24円**を予定



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

業績
〔財務体質〕

資産圧縮

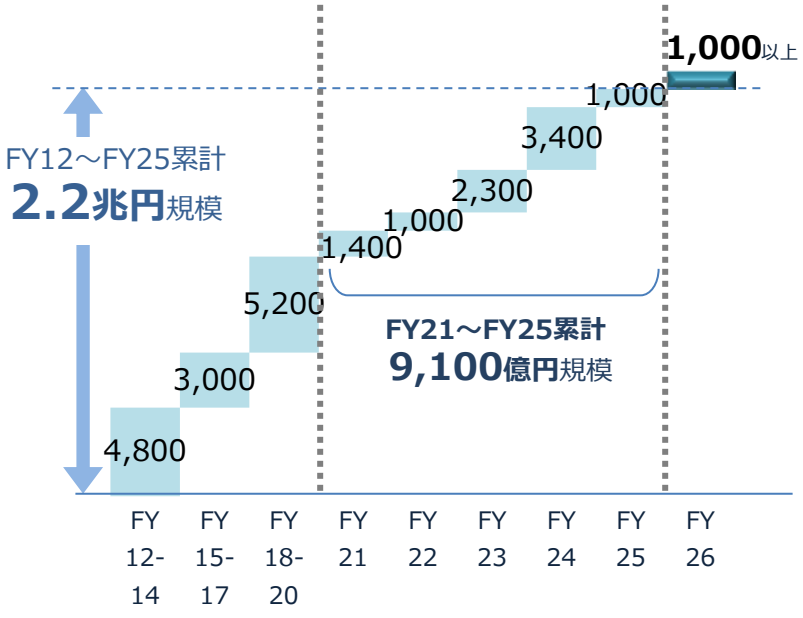
2026年度は1,000億円以上の資産圧縮を実行する方針

資産圧縮

2026年度　1,000億円以上

政策保有株式の売却等　　1,000億円

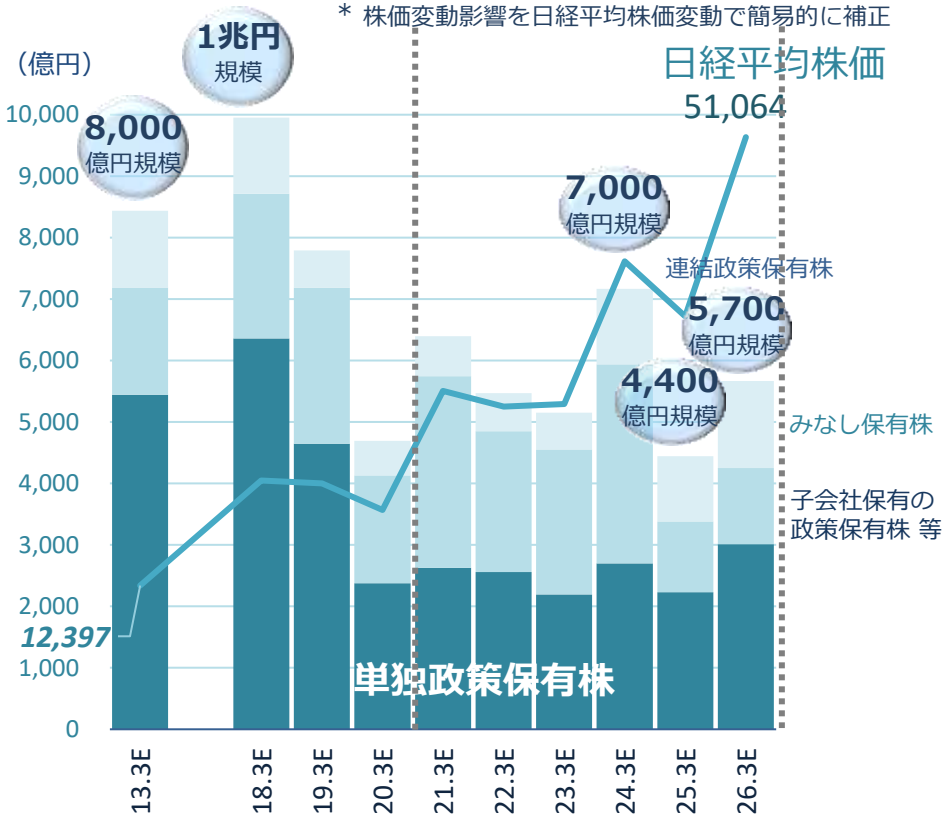
（外数）持分法適用関連会社株式一部譲渡
（NSユナイテッド海運）　360億円程度



連結政策保有株式残高

2013年以降
政策保有株式を実質8割以上縮減＊

＊ 株価変動影響を日経平均株価変動で簡易的に補正



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

NIPPON STEEL

調整ページ

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

目次

1．2026年度2Q実績および2026年度見通し

2．2026年度の取り組み
（2030中長期経営計画実行状況）

・国内事業（単独製鉄事業・鉄グループ会社・非鉄３社）
・海外事業（海外製鉄事業・原料事業）

3．カーボンニュートラルビジョン2050関連

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

業績
〔国内・海外事業別〕

国内・海外事業別 2026年度実力利益見通し

U. S. Steelがグループの稼ぎ頭として当社の業績を牽引

（億円）	上期実績	下期実績	2025年度実績	1Q実績	2Q実績	上期実績	下期見通し	2026年度見通し	*2030*中期
実力ベース連結事業利益	3,457	3,047	**6,504**	1,084	2,050	3,133	4,567	**7,700**以上	**10,000**以上
国内	2,579	2,697	**5,276**	471	981	1,452	2,348	**3,800**	**5,000**以上
単独製鉄事業	1,366	1,099	**2,465**	▲124	261	137	863	**1,000**	
鉄グループ会社	803	1,035	**1,838**	390	422	811	889	**1,700**	
非鉄３社	360	546	**906**	205	283	488	562	**1,050**	
海外	878	350	**1,228**	613	1,069	1,681	2,219	**3,900**	**5,000**以上
海外製鉄事業	473	▲89	**384**	385	762	1,147	1,653	**2,800**	
U. S. Steel (+NSSK)	222	▲277	**▲56**	322	668	990	1,310	**2,300**以上	
原料事業	405	439	**844**	228	306	534	566	**1,100**	

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

業績
〔収益力〕

連結実力利益1兆円以上の実現に向けて

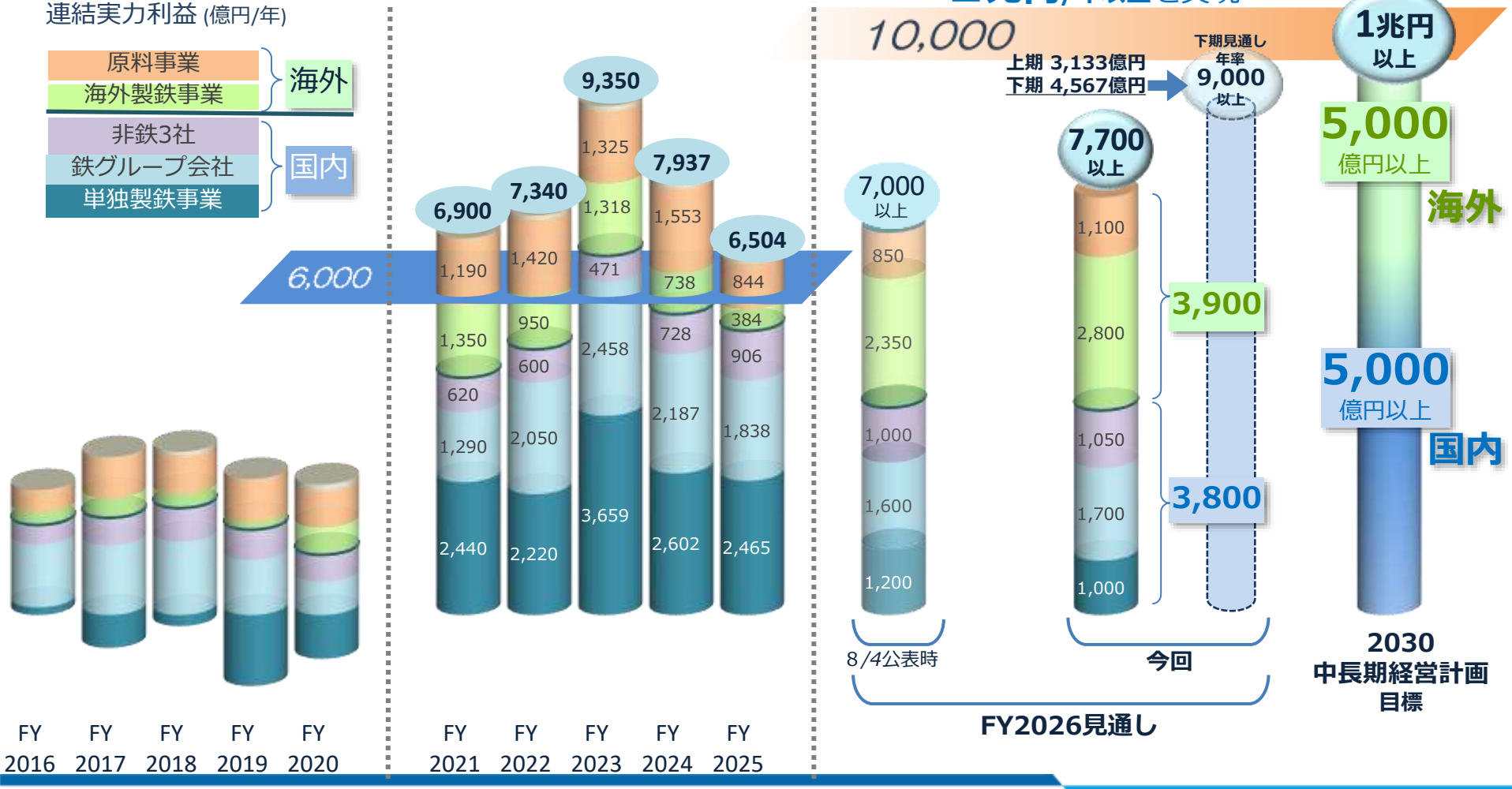
◆2025中長期経営計画の完遂により、外部環境の変化にも強い収益基盤を確立
◆国内事業のさらなる収益基盤強化と海外事業の成長により連結実力利益1兆円以上を目指す

2016～2020年度 平均 約2,000億円
2021～2025年度 平均 約7,600億円
2026～2030年度 **1兆円/年以上を実現**
2031年度～ **次なる利益水準へ飛躍**

連結実力利益 (億円/年)

原料事業
海外製鉄事業
→ 海外

非鉄3社
鉄グループ会社
単独製鉄事業
→ 国内

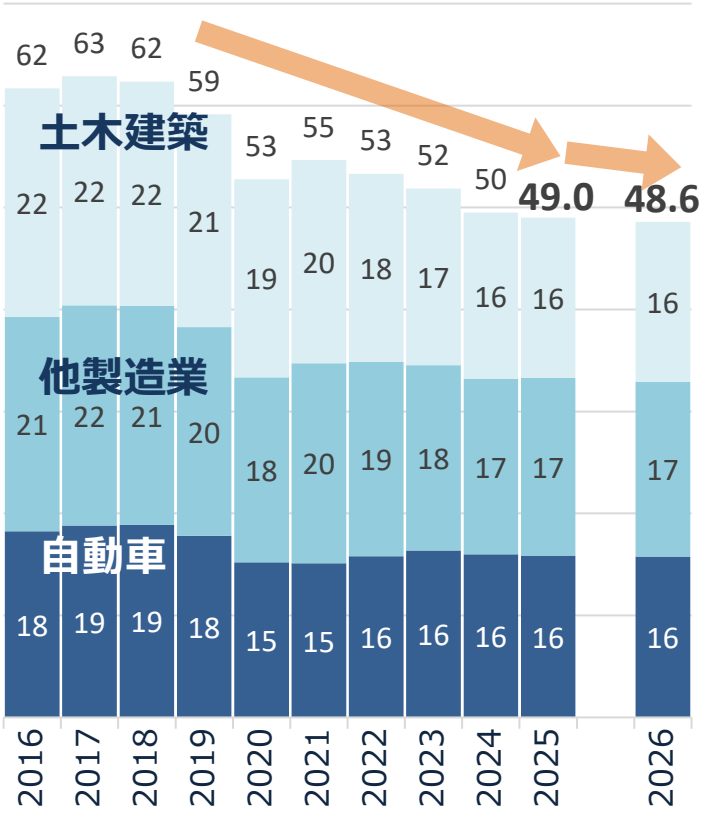


© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

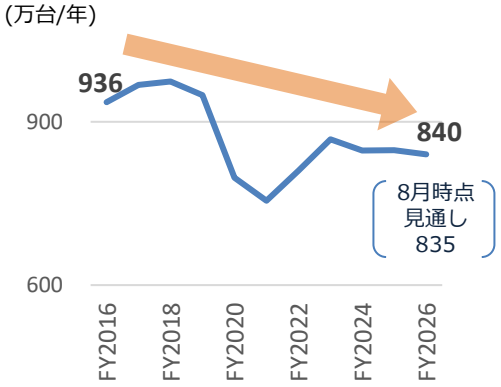
国内鉄鋼事業環境

◆内需は漸減傾向継続
◆主原料コストが概ね横ばいで推移する一方、諸コストは高水準が継続

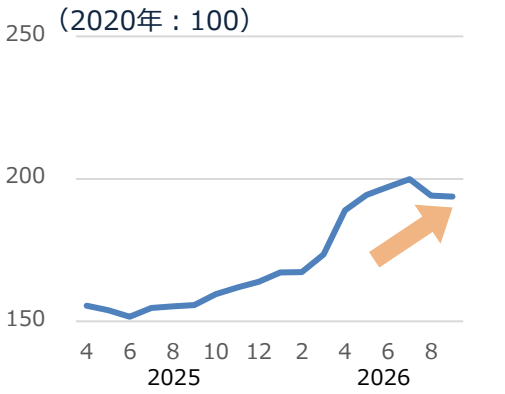
国内鋼材需要



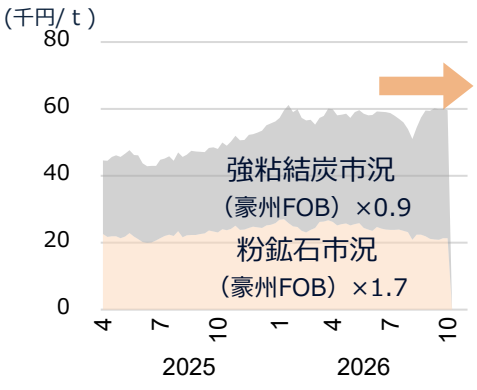
完成車生産



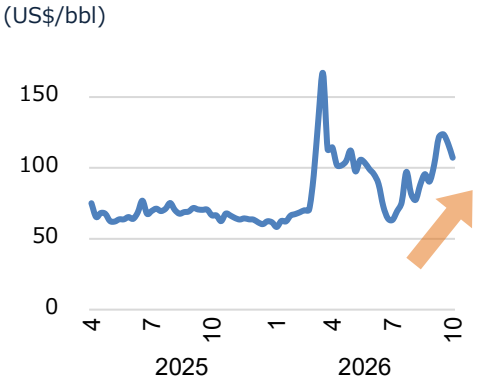
輸入物価指数



主原料価格 (鋼材換算後)



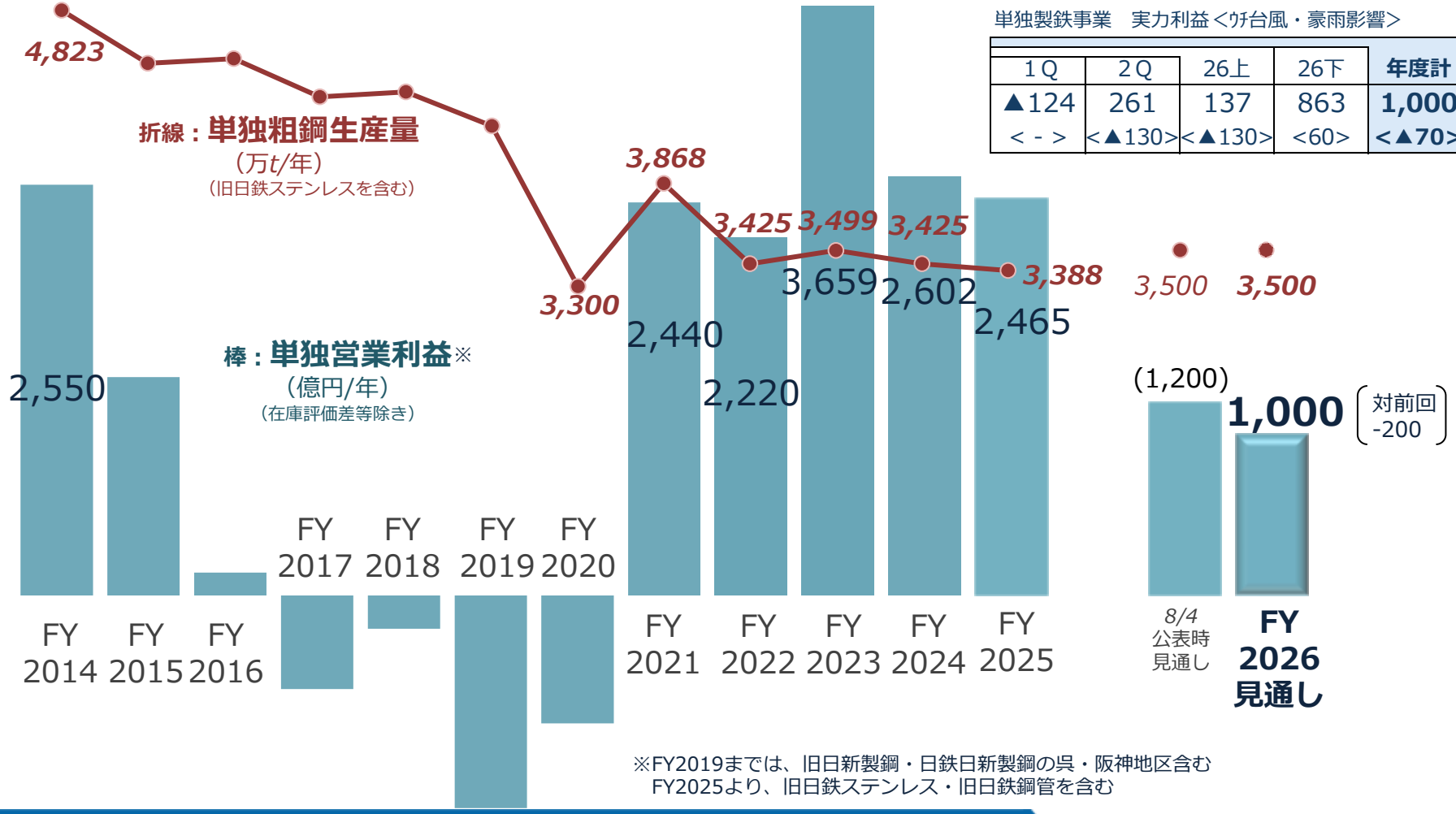
原油価格 (Dubai)



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

単独製鉄事業 利益推移（実力ベース）

◆原燃料価格のさらなる上昇に対する紐付き分野での価格反映の時期ずれ(-130) に加え、台風・豪雨影響等(-70)により、対前回公表-200億円
◆下期は、さらなる追加値上げも含めた価格反映を強力に推進しつつ、台風・豪雨影響（生産出荷）のリカバリーに努める



単独製鉄事業　実力利益＜ｳﾁ台風・豪雨影響＞

1Q	2Q	26上	26下	年度計
▲124	261	137	863	1,000
< - >	<▲130>	<▲130>	<60>	<▲70>

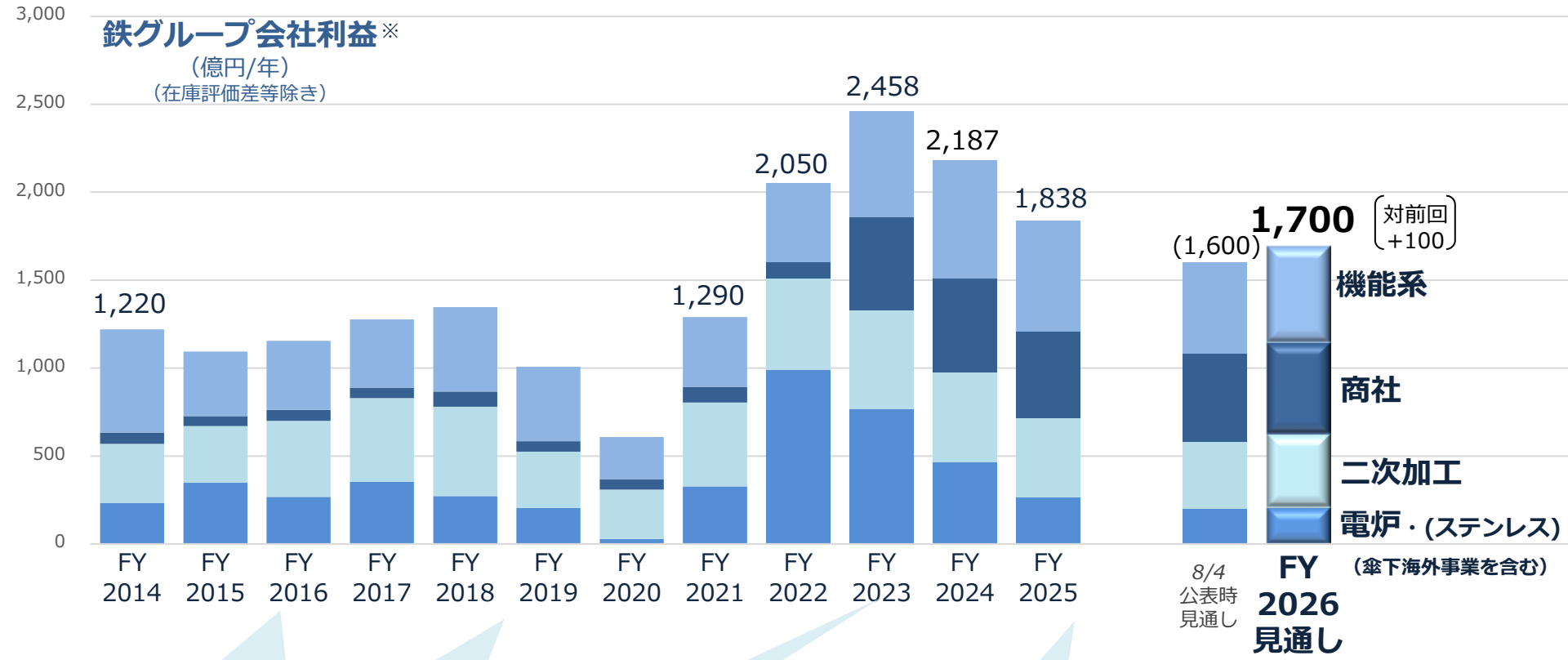
※FY2019までは、旧日新製鋼・日鉄日新製鋼の呉・阪神地区含む
FY2025より、旧日鉄ステンレス・旧日鉄鋼管を含む

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

国内事業
鉄グループ会社

鉄グループ会社　利益推移（実力ベース）

原燃料コスト上昇等の国内事業環境悪化あるも、販売価格への反映等で対応し
対前回公表＋100億円の増益



【電炉・ステンレス】
2016.1Q～
東京鋼鐵　連結子会社化
（大阪製鐵傘下）

【電炉・ステンレス】
2019.1Q～
山陽特殊製鋼
連結子会社化

【商社】
2023.1Q～
日鉄物産
連結子会社化

【電炉･ステンレス】2025.1Q～
日鉄ステンレス直営化（→「単独製鉄事業」へ）

【二次加工】2025.1Q～
日鉄鋼管解散（→メカ管は「単独製鉄事業」へ）

予定
【電炉】*2027.4*～
山陽特殊製鋼統合
（→「単独製鉄事業」・「海外事業」へ）

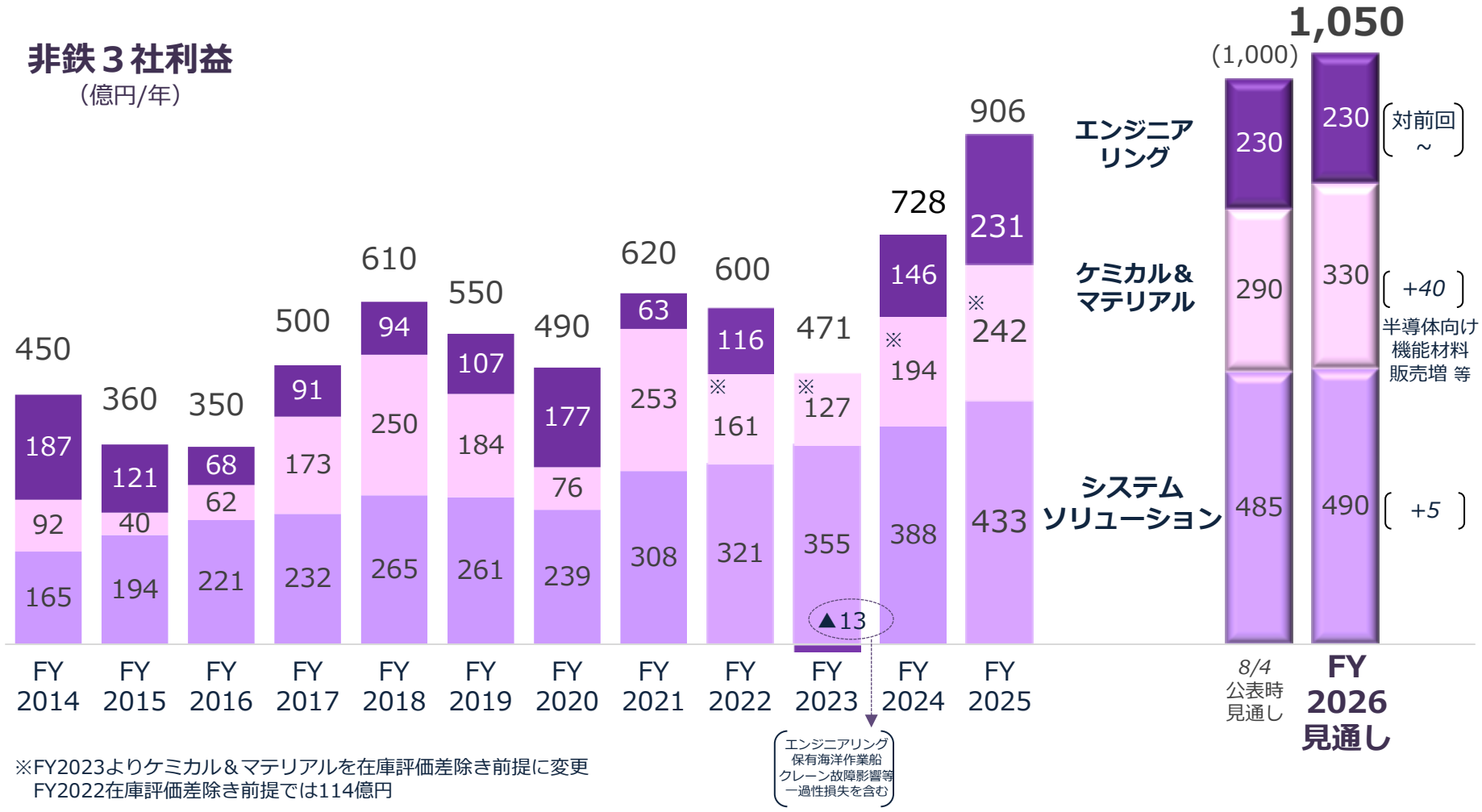
※旧日新製鋼ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社・旧日新製鋼のｽﾃﾝﾚｽ部門を含む　FY2024まで、旧日鉄ステンレス・旧日鉄鋼管を含む

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

国内事業
非鉄3社

利益推移（実力ベース）

◆AI/半導体関連等の成長分野を中心に収益拡大、３社ともに過去最高益を見込む
◆３社合計では対前回公表+50億円



※FY2023よりケミカル＆マテリアルを在庫評価差除き前提に変更
FY2022在庫評価差除き前提では114億円

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

国内事業
非鉄3社

非鉄３社　トピックス

日鉄ソリューションズ㈱

◆Anthropic社と戦略的パートナーシップ契約を締結（2026年9月28日公表）

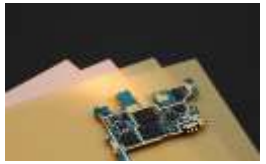
・NSSOLの総合力とAnthropic社の先進的なAI技術を組み合わせ、AIを「便利なツール」から「事業を動かす当事者」へ

⇒日本製鉄を「クライアントゼロ」として、実際のIT・OT現場でAI活用を実践。
これらを通じて培った技術・知見を他産業へ展開し、顧客の生産性・意思決定スピード向上と新たな価値創出を目指す。

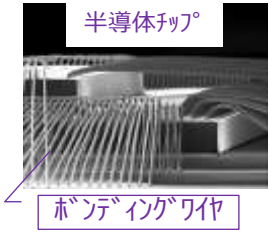
日鉄ケミカル＆マテリアル㈱

◆有機・無機材料技術を駆使した特徴ある商品群の開発

・AIサーバー向けリジッド回路基板材料用樹脂
（販売数量　対2025FY+80%増）
九州製造所内に新工場を建設中。2028FYに生産開始


リジット回路基板と基板材料

・半導体実装用ボンディングワイヤの販売増
（販売数量　対2025FY+15%増）
日鉄マイクロメタルで能力増強実施中



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

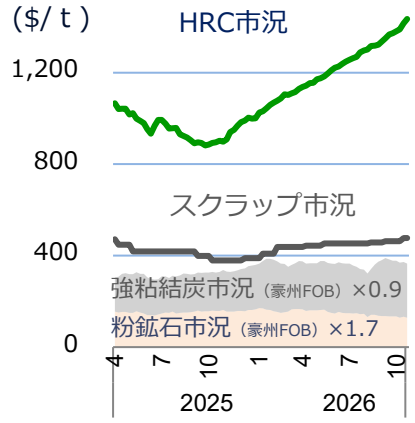
海外製鉄事業

海外重点４地域における事業拠点の状況

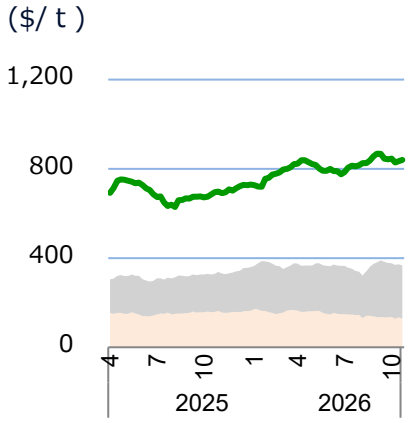
鋼材市況が好調な米国・欧州・インドにおいて、前年度から増益を見込む

市況

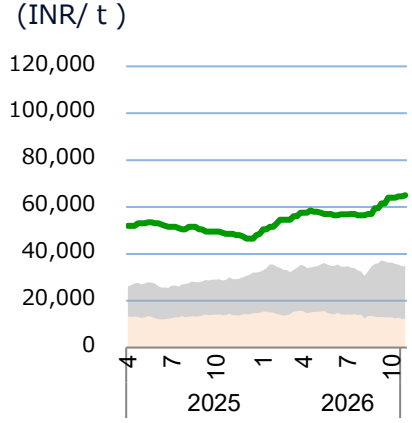
米国
<U. S. Steel・Standard Steel・ICI他>



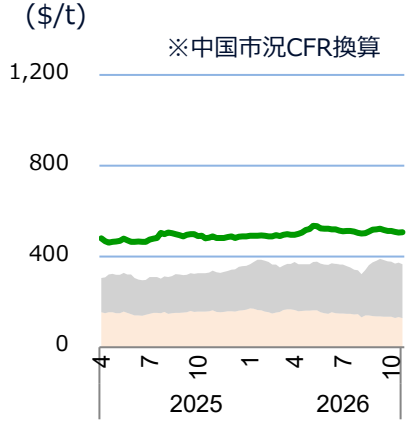
欧州
<NSSK・Ovako・Suzuki Garphyttan>



インド
<AM/NS India・SSMI・SMAC>



タイ
<NS-SUS・G/GJ Steel・NSBS Thai他>



マクロ環境

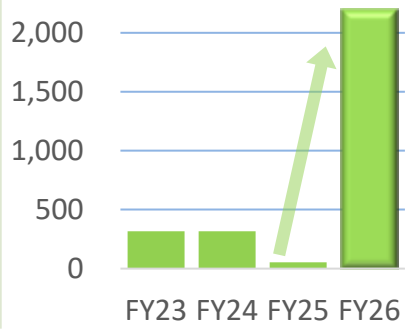
IMF世界経済見通し（成長率予測%）　2026年10月公表

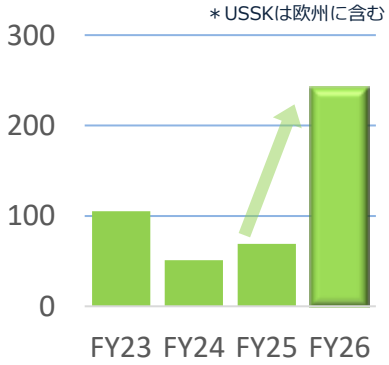
	25年実績	26年予測	対前年	対7月時
米国	2.3%	**2.3%**	～	～
欧州	1.2%	**1.1%**	▽0.1%	+0.2%
インド	7.8%	**7.0%**	▽0.8%	+0.6%
タイ	4.5%	**4.4%***	▽0.1%	+0.3%

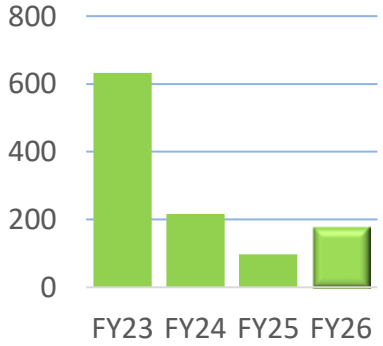
＊ASEAN5成長率予測

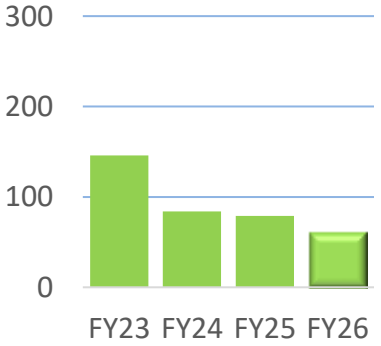
実力損益

(億円)









NIPPON STEEL

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

海外製鉄事業

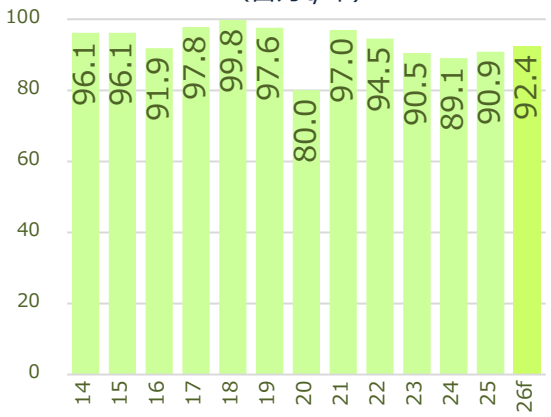
米国鉄鋼事業環境

米国内需給環境を反映し、鋼材市況は続伸、高位継続

需要：堅調さが継続

米国鋼材需要

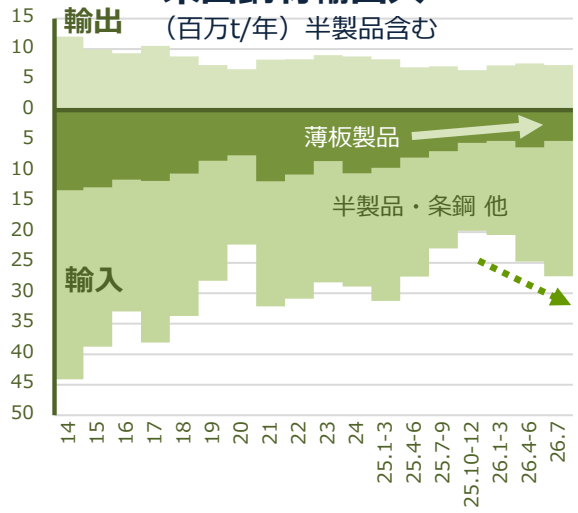
（百万t/年）



輸出入：直近輸入増も、薄板輸入は低位継続

米国鋼材輸出入

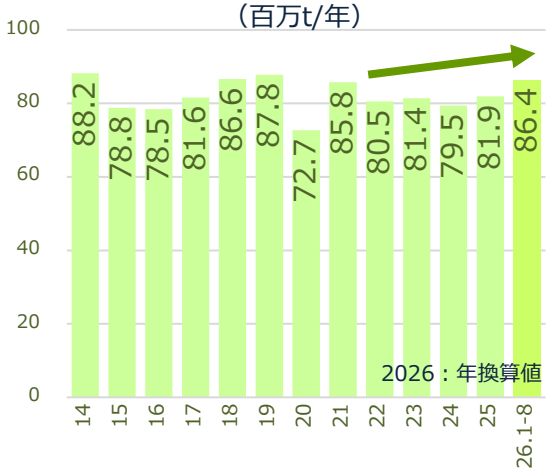
（百万t/年）半製品含む



粗鋼生産：増加傾向を継続

米国粗鋼生産

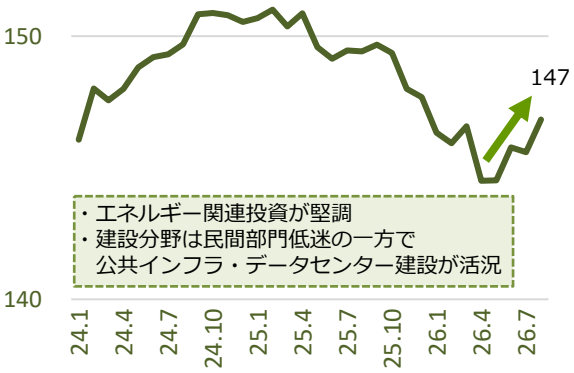
（百万t/年）



建設支出：直近増加傾向

米国建設支出指数

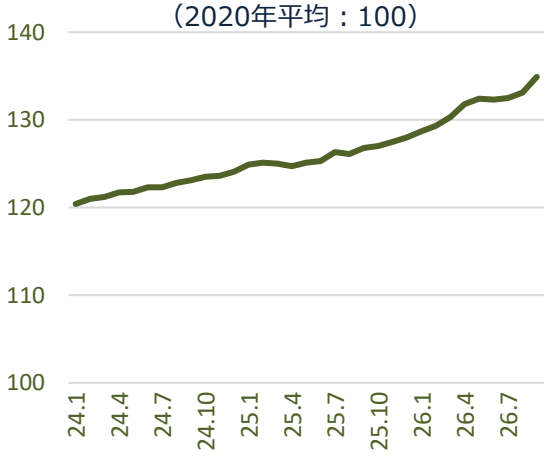
（2020年平均：100）



物価動向：インフレが断続的に進行

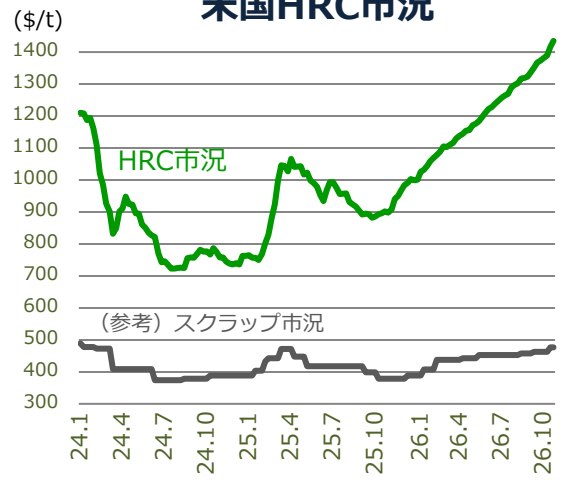
米国企業物価指数

（2020年平均：100）



市況動向：市場予測を上回る水準で続伸

米国HRC市況



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

海外製鉄事業
(2030中長期経営計画)

U. S. Steelの飛躍的利益成長

**当社の最先端の技術と経営リソースを投入し、30億ドルの効果発揮に向け
シナジー最大化と戦略的投資の早期成案化・実行を着実に推進**

技術者等100名規模に増員派遣
(短期派遣者含む)

操業技術　設備技術
商品技術　脱炭素技術

8つの柱・66課題 検討推進

① 生産設備新鋭化
　・競争力維持向上
② コスト競争力強化
③ 既存設備の生産性向上
　・品質対応力強化
④ 戦略商品メニュー
　・高級鋼供給能力拡大
⑤ 薄板とミニミルの連携
⑥ 当社との協業シナジー
　の最大発揮
⑦ 新製鉄所建設
　・事業領域拡大
⑧ カーボンニュートラル対応

U. S. Steel 中長期計画 (2025.11公表)

操業シナジー

**当社の先進的な技術・ノウハウ導入
260項目の改善イニシアティブ推進**

- 品質改善
- 操業改善（生産性・コスト）
- 燃料費・歩留・エネルギー効率改善
- 原料関連

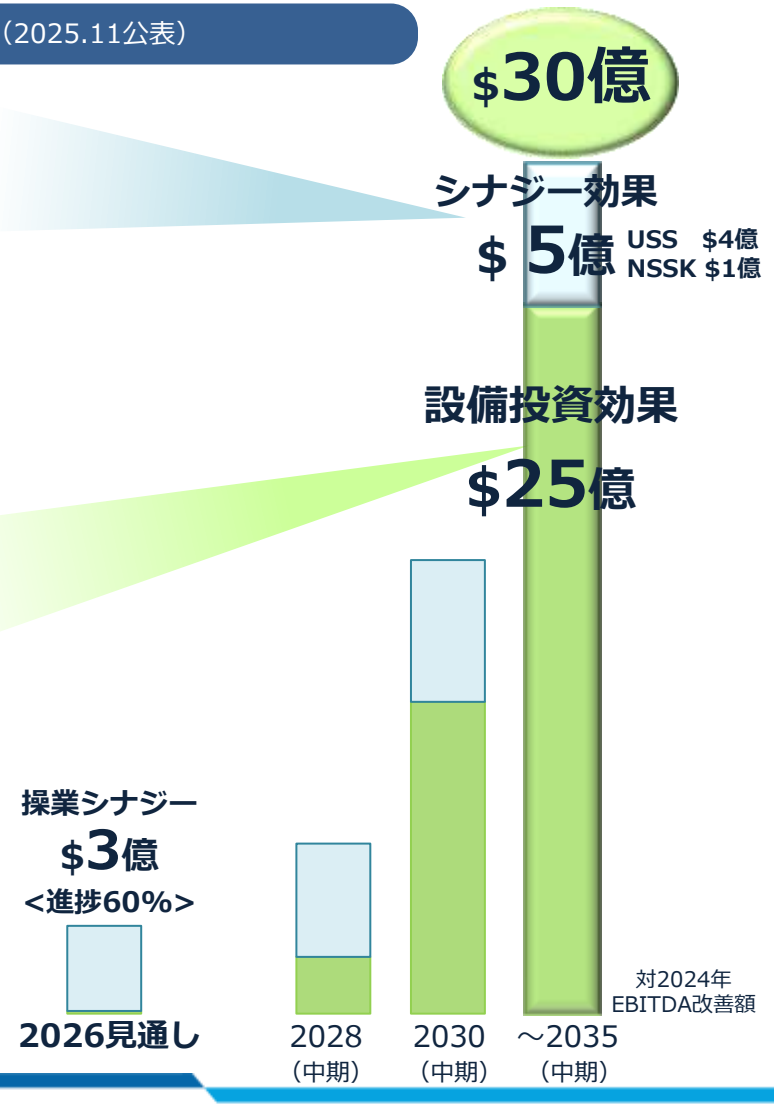
⇒ コスト競争力・製造実力向上等

設備投資

**大規模な成長投資を計画
米国内で110億ドル(～2028年末)
戦略プロジェクトを中心に
投資効果発揮**

- スループット向上
- エネルギー効率改善
- 生産性向上
- 品質向上

⇒ 品種高度化・供給製品メニュー拡大・
供給能力拡大



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

海外製鉄事業 U. S. Steel 製造実力強化・操業シナジー先行発揮

◆各拠点で当社派遣技術者の支援による先進技術導入と操業・コスト改善の取り組みを加速
◆製造実力強化と操業シナジーの先行発揮に向けた取り組みを強力に推進中

派遣者と現場の協働

拠点・工程毎に**260の改善施策**を順次実行し操業・コスト改善推進中

当社の現場の取り組みやノウハウの導入

一貫品質管理マネジメント「Ikkan QC」

製販一体改善「SEIHAN」

Gary



●第14高炉改修後 順調に操業中

U. S. Steelで最大規模の高炉を短工期（100日以下）で改修後順調に操業中

●他高炉 操業コスト改善中

高炉操業安定化のノウハウ導入による各種原単位削減等の効果発揮

Granite City



●#B高炉 順調に操業中

#B高炉（能力1.4百万t/年）を3月下旬に2年半ぶりに再稼働後、順調に操業中

Mon Valley



●圧延工程の操業・品質改善

圧延工程の資材ロス削減・品質改善、一貫最適化推進によるクレーム削減等

Big River Steel

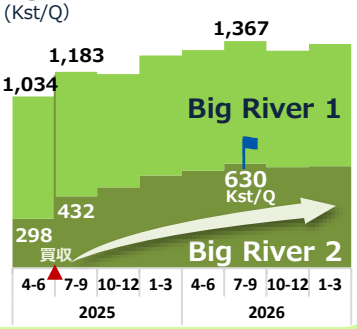


●既投資効果フル発揮
Big River 2 高位安定生産継続

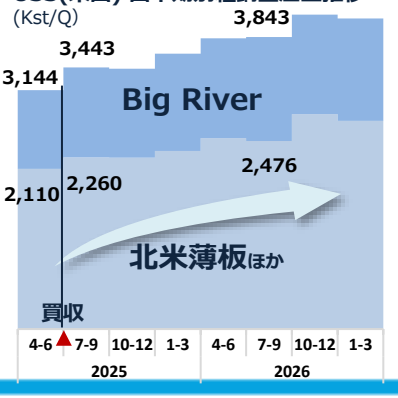
BR1・2とも、高位安定生産と高生産性を追求
米国の良好な事業環境のもと需要を確実に捕捉

<BR2> 2026.8月 月次生産新記録更新（218Kst/月）
6月から200Kst/月超の高位安定生産を継続中

Big River 四半期別生産量推移
(Kst/Q)



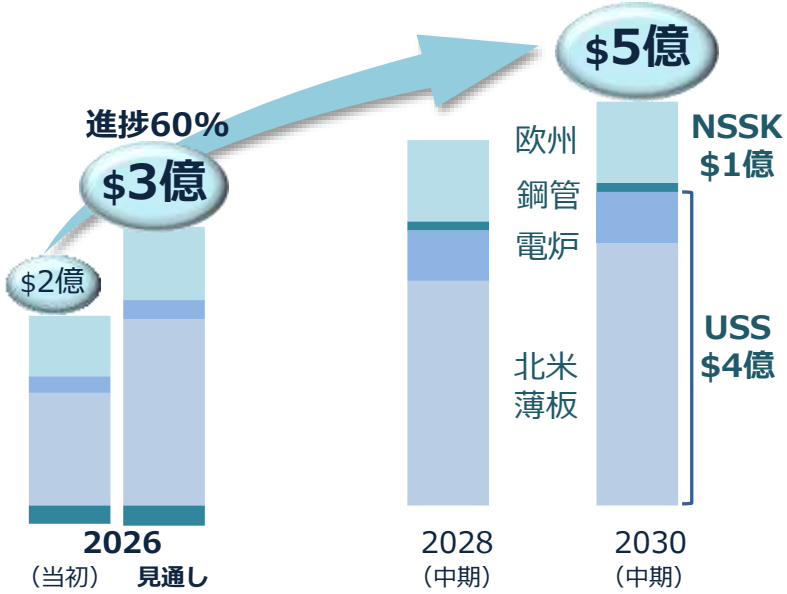
USS(米国) 四半期別粗鋼生産量推移
(Kst/Q)



操業シナジー

対2024年EBITDA改善額

中期目標に対しシナジー先行発揮



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

海外製鉄事業 U. S. Steel　米国 戦略的投資計画 進捗

◆モンバレー製鉄所において熱延設備新設を決定（約30億ドル）
◆米国における戦略的投資は累計約67億ドルを成案化（2026.11月時点）

Gary（高炉拠点）

●熱延設備増強
厚手ラインパイプ用鋼板・
自動車用高強度鋼板の製造可能化
（2025年9月執行決定）
投資額：＄2.0億
工事完了予定：2026.3Q(7-9月)

●第14高炉改修
生産能力確保、コスト改善
（2025年12月執行決定）
投資額：＄3.5億
2026.8月　改修完了

検討中（2026年度成案化予定）

○**製鋼工程ほか設備更新**
生産性向上、注文対応力向上
品質・コスト改善

○**熱延設備一部改造**
生産性向上、品質・コスト改善

主な成案化案件



Mon Valley（高炉拠点）

●スラグ処理設備新設
スラグ販売による収益拡大
（2025年9月執行決定）
投資額：＄1.0億
工事完了予定：2028初

New
●熱延設備新設 次頁
生産性向上、品質・コスト改善
高級鋼製造対応
（2026年10月執行決定）
投資額：約＄30億
工事完了予定：2029後半

Big River（電炉拠点）

●DRIプラント新設
高品位ペレット製造に適した
自鉱山鉱石を活用し
電炉の主原料となる高品質で
コスト競争力ある直接還元鉄を
安定的に製造
（2026年4月執行決定）
投資額：＄19億
工事完了予定：2029.1Q(1-3月)
＊ DRI: Direct Reduced Iron（直接還元鉄）

Fairfield（鋼管拠点）

●高級ねじ切り設備増設
ねじ切り内製化によるコスト改善
（2025年11月執行決定）
投資額：＄0.75億

●熱処理設備増設
ネック工程解消による一貫能力拡大
高級鋼管製造対応
（2026年6月執行決定）
投資額：＄4.75億
工事完了予定：2029

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

海外製鉄事業 U. S. Steel モンバレー製鉄所 熱延設備新設

（2026年10月23日公表）

◆1938年から稼働する熱延設備の新鋭化により、一貫能力拡大と抜本的競争力強化を実現
◆高級鋼をはじめとして、幅広い需要分野に対応する製品の供給対応力が飛躍的に向上

＜投資概要＞

◆投資内容
モンバレー製鉄所
（ペンシルベニア州）
エドガー・トムソン地区
熱延新設（約3.5百万st）
製鋼一部改造
アーヴィン地区
酸洗一部改造

◆投資額：約＄30億

◆工期：
2027年着工
2029年後半稼働開始予定



＜生産フロー＞

ミネソタ州 ペレット
クレアトン地区 コークス

エドガー・トムソン地区
- 高炉
- 製鋼
- 二次精錬能力向上（RH・LMF ⇒ RH・LMF×2）連続鋳造機能力向上 ［改造］
- 熱延　3.5百万st/年 ［新設］

アーヴィン地区
- 熱延　2.2百万st/年（1938年稼働）
- 酸洗 ［コイル搬送方式改善］［改造］
- 冷延・めっき

＜投資効果＞

◆能力拡大
・鉄源～熱延一貫能力拡大
・製鋼能力向上（連続鋳造能力向上）

◆コスト
・熱効率向上（エドガー・トムソン地区への熱延工程移管）
・熱延コスト競争力強化（コイル大単重化、歩留向上等）

◆品質
・高級鋼対応力向上（ハイテン製造可能化）
・製品品質向上（アーヴィン地区 酸洗コイル搬送方式改善 等）

NIPPON STEEL
© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

海外製鉄事業

重点地域：欧州 ～グループ経営基盤整備と運営体制強化を加速

◆欧州の鉄源一貫薄板製造拠点 Nippon Steel Slovakia（NSSK）を直接保有化
◆NSSKと世界最高水準の高級特殊鋼棒線子会社OVAKOとのシナジー発揮・欧州域内需要捕捉
◆カーボンニュートラル先進地域である欧州域内において、先行するOVAKO※に加え、NSSKにおける電炉化を含めた脱炭素・成長戦略を強力に推進

※ 2022年よりカーボンオフセットプログラムを活用しカーボンニュートラルへ移行
（加熱炉への水素利用、カーボンフリー水素生成プラント建設 等）

2027.4.1 直接出資体制へ移行（予定）

電炉一貫特殊鋼棒線拠点

OVAKO

・粗鋼生産能力 1百万t/年
・特殊鋼棒線（軸受鋼）



日鉄物産によるCLN Slovakia 買収（予定）

（2026年10月30日 日鉄物産公表）

鋼材サービスセンター

◆欧州での鋼材流通分野も含めたインサイダー化推進
◆自動車向け鋼板等の加工・流通競争力の強化
◆グループの欧州薄板事業基盤強化・シナジー最大化

＊CLN Slovakia (CLN SK)：NSSK構内にある
鋼材スリット・レベラー加工センター（2007年～）

2026.10.1 直接出資体制へ移行

鉄源一貫薄板拠点

NIPPON STEEL
NIPPON STEEL SLOVAKIA

・粗鋼生産能力 4.5百万t/年
・多様な薄板製品ポートフォリオ
（熱延・冷延鋼板、ブリキ、亜鉛めっき、電磁鋼板 等）
・広範な需要分野
（自動車, 電機, エネルギー, 建設 等）

◆NSSKの直接保有化を通じた
さらなるシナジー積み上げ・最大化
◆派遣者増員　2025.11時点：　5名
⇒2027年初：14名（予定）
◆脱炭素・成長投資案件の検討推進
◆スループット・収益最大化に資する
諸施策推進
（歩留・生産性・品質改善等）
◆伸長する欧州域内需要の確実な捕捉
（品種高度化、欧州流通対策等）


Nippon Steel Slovakia
<スロバキア・コシツェ>


Nippon Steel Slovakia 発足式典の様子

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

海外製鉄事業

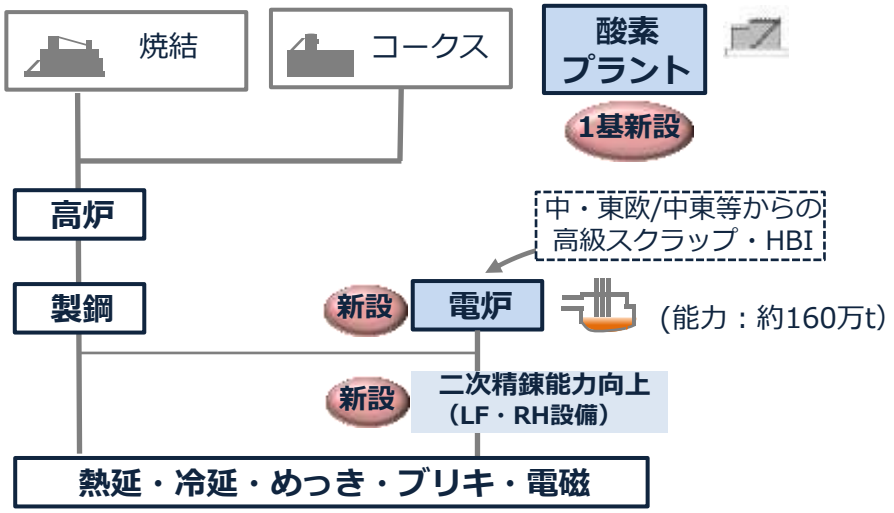
Nippon Steel Slovakia 脱炭素・成長投資決定

（2026年9月16日公表）

◆欧州の中核拠点 NSSKにおいて電気炉と酸素プラントの新設を決定（約€9億）
◆スロバキア政府と補助金契約を締結（€3.5億）



<NSSK生産フロー>



<投資概要>

- **電気炉１基新設**　2030年稼働開始予定
- **酸素プラント１基新設**　2029年稼働開始予定

<投資効果>

・電炉新設により、既設高炉設備と組み合わせた生産体制を構築
　→高品質鋼材の安定供給と大幅なCO_2排出量削減（▽45%）を両立
　Cf）スロバキア国の発電電源構成における低炭素電源比率：80%超（原子力＋再エネ）

・コシツェ製鉄所の安定操業を支える重要な基盤を整備
　酸素プラントのコンプレッサー駆動変更（蒸気→高効率電力）
　→エネルギー効率の向上・CO_2排出量削減

・スロバキア政府によるCO_2排出量削減投資への補助金活用
　→欧州気候変動政策への対応


スロバキア政府との補助金契約締結
フィツォ首相（右）と宮本CEO（左）

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

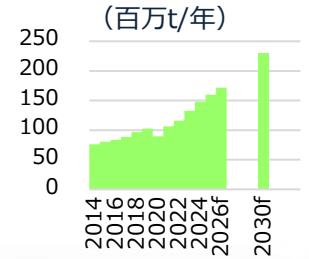
重点地域：インド　～AM/NS India

着実に伸長するインドの鉄鋼需要の捕捉と品種高度化に向けた能力拡張を推進

能力拡張スケジュール



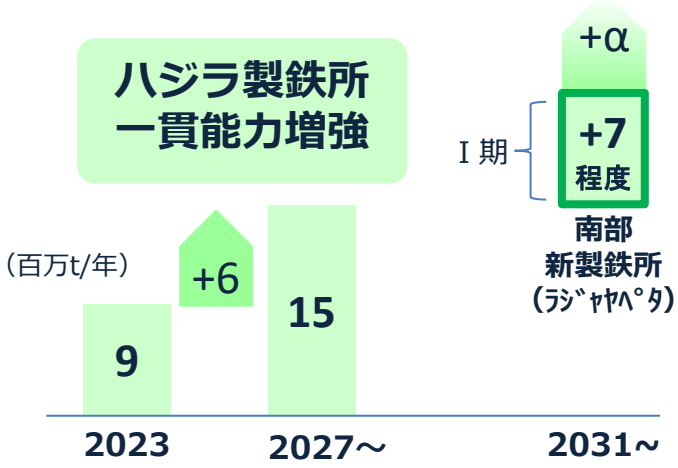
インド鋼材需要



生産能力拡張

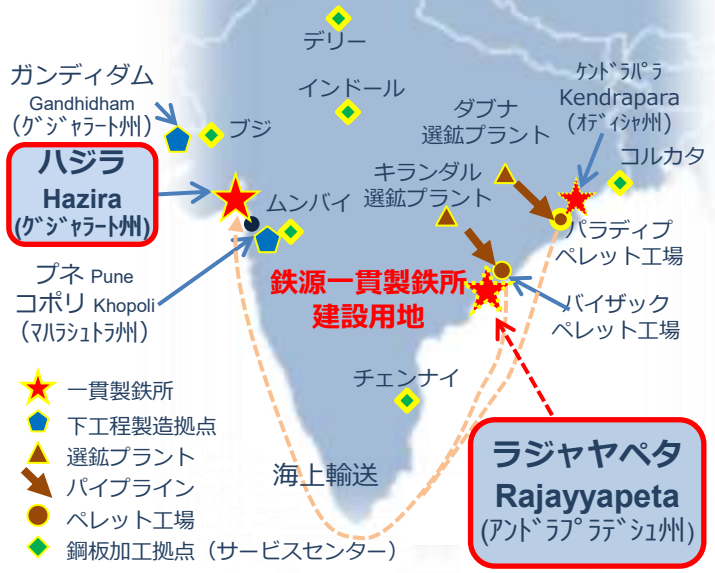
一貫製鉄所新設

ハジラ製鉄所 一貫能力増強



品種高度化

- **自動車向け本格参入**
  2025.7～
  ：めっきライン稼働
  2026.4～
  ：酸洗冷延ライン稼働
  2026下期～
  ：冷延・アルミめっきライン稼働予定
- **建材向け高耐食めっき供給開始**
  2024.1～稼働



© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

重点地域：インド　～AM/NS India

◆堅調なインド需要を背景に、国内出荷は増加基調が継続、収益は市況上昇を受け増益
◆能力拡張・品種高度化を通じて中長期の収益成長を目指す

足元の事業環境・鉄鋼需給

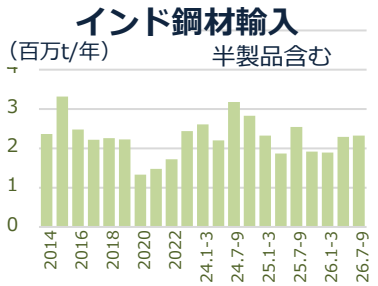
- インド鋼材需要はインフラ・建設・製造業の拡大を背景に増加傾向。足元はモンスーン期が終了し、需要は堅調に推移。
- 鋼材輸入は通商措置(熱延AD調査等)により前四半期並み、鋼材輸出は中東・アセアン向け中心に増加。
- 鋼材市況は、良好な需給環境およびコスト上昇による押上げ要因もあり上昇基調。

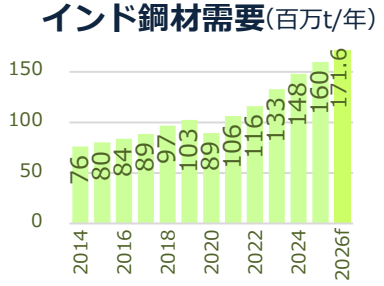
AM/NS Indiaの業績

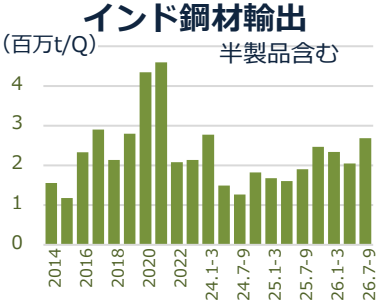
- 26年7-9月の国内出荷量は対前年同期で増加基調が継続。
- EBITDAは対前年同期で22%、対前四半期で3%の増益。

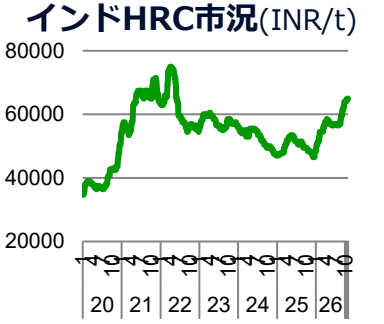
能力拡張と品種高度化に向けた取り組み

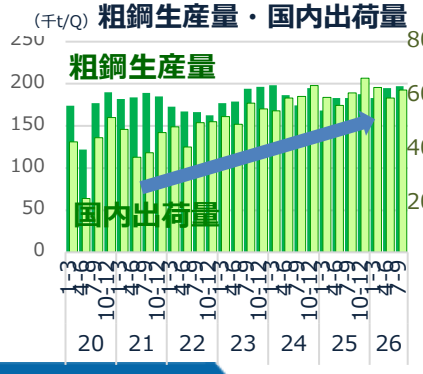
- ハジラ製鉄所：
  薄板設備増強による自動車向け本格参入
  25年7月 めっきライン稼働、26年4月 酸洗冷延ライン稼働、
  26年下期～ 冷延・アルミめっきライン稼働予定
  鉄源一貫能力拡張工事を推進
  粗鋼能力 ＋6百万t (約9→15百万t/年)、FY2027～稼働予定
- 南部アンドラプラデシュ州一貫製鉄所新設に向け、投資方案を継続検討中。 26年3月～ 土地造成工事開始

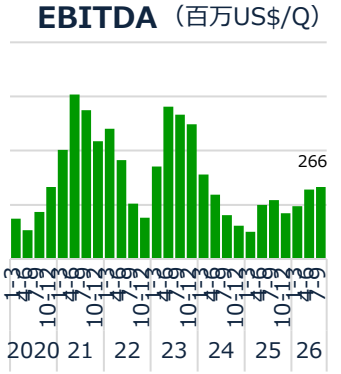












© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

海外製鉄事業 重点地域：タイの当社事業展開：NS-SUS、G/GJ Steel

ASEAN最重点ホームマーケット。中国輸入材の流入拡大による厳しい事業環境が続く中、通商対策・拡販・コスト削減等あらゆる施策とグループ総合力を結集し、収益改善・利益成長を図る

足元の事業環境・通商対策

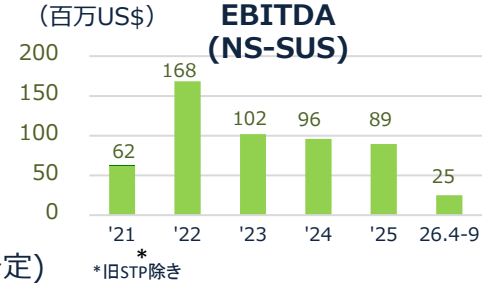
- 22年以降、中国輸入材の流入が増加する中、タイ国内市況は低迷。
  (中東影響により26年4-6月の熱延市況は一過的に上昇)
- 中国からの熱延・めっき材輸入に対するAD・反迂回措置、強制規格化等の通商対策をタイ政府の協力の下、推進中。

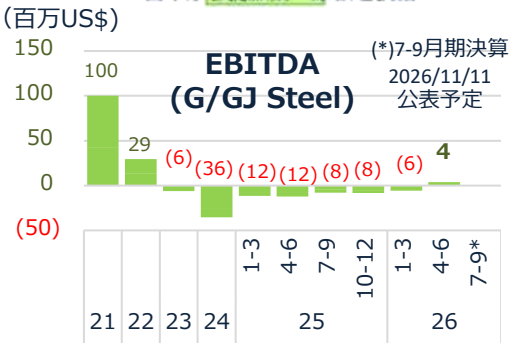




NS-SUSの業績と取り組み

- 26年4-9月は、一過的な熱延市況上昇の一方輸入材との競合により製品価格は小幅な上昇に留まり、マージン・収益は悪化。
- 7月以降、熱延市況は落ち着きを取り戻す中、拡販、追加コスト削減の対策に取組み中。
  *ブリキ能力拡張投資 2ヵ月前倒しで進捗 (27年1月完工予定)



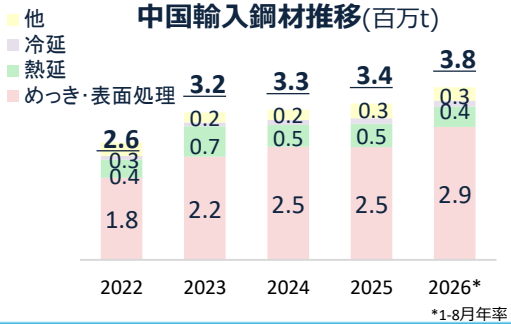


G/GJ Steel*の業績と取り組み

*タイ唯一の電炉一貫薄板製造会社（2022年買収）

- 熱延市況上昇、拡販効果により、4-6月のEBITDAは黒字化。
- 冷鉄源調達におけるグループ連携強化、拡販、コスト削減の対策を推進中。



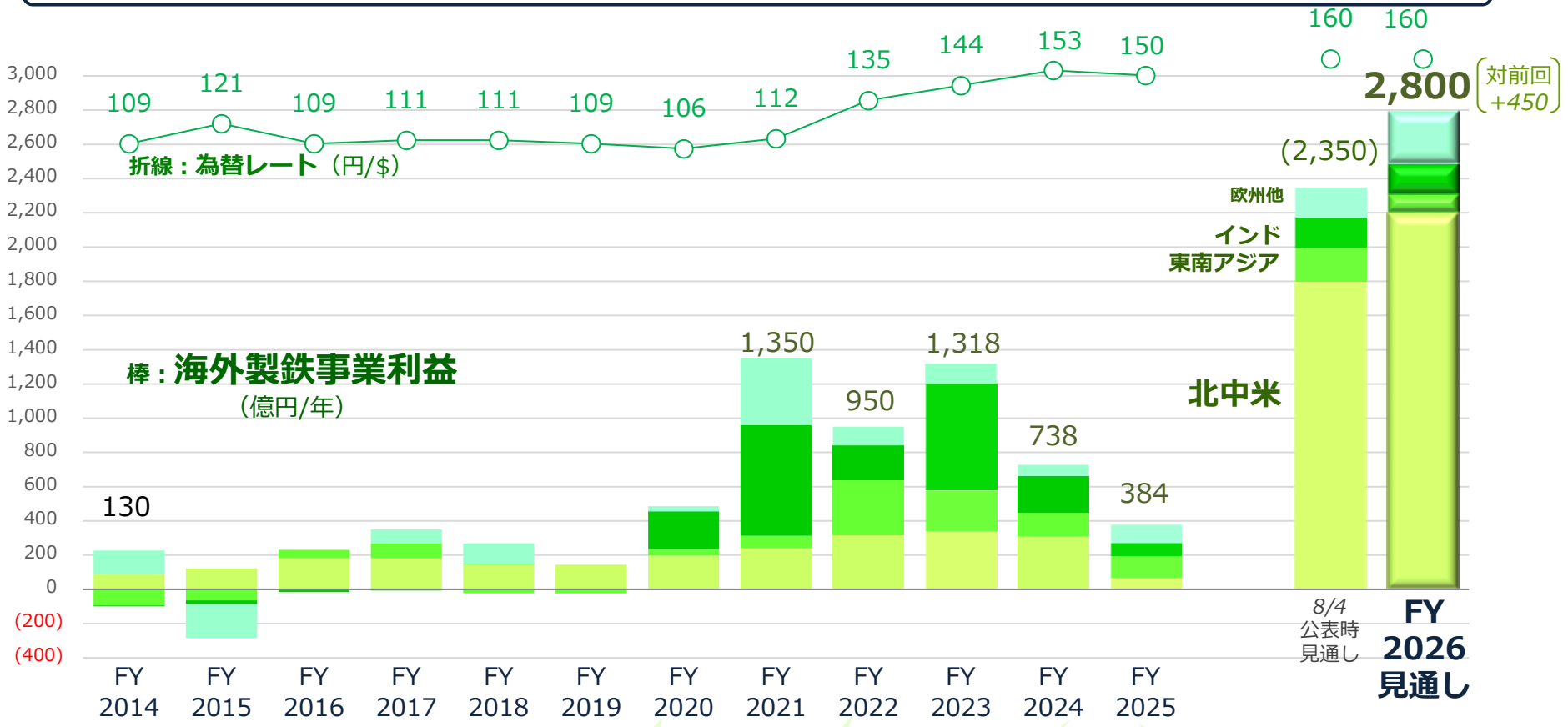


© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

海外製鉄事業

利益推移（実力ベース）

U. S. Steelが海外製鉄事業の大幅増益を牽引（対前回見通し＋450億円）



2014.1Q～
AM/NS Calvert
連結開始
（持分法適用）

2020.1Q～
AM/NS India連結
開始
（持分法適用）

2022.1Q～
G/GJ Steel
連結開始
（子会社）

2024.4Q～
BNA
連結除外

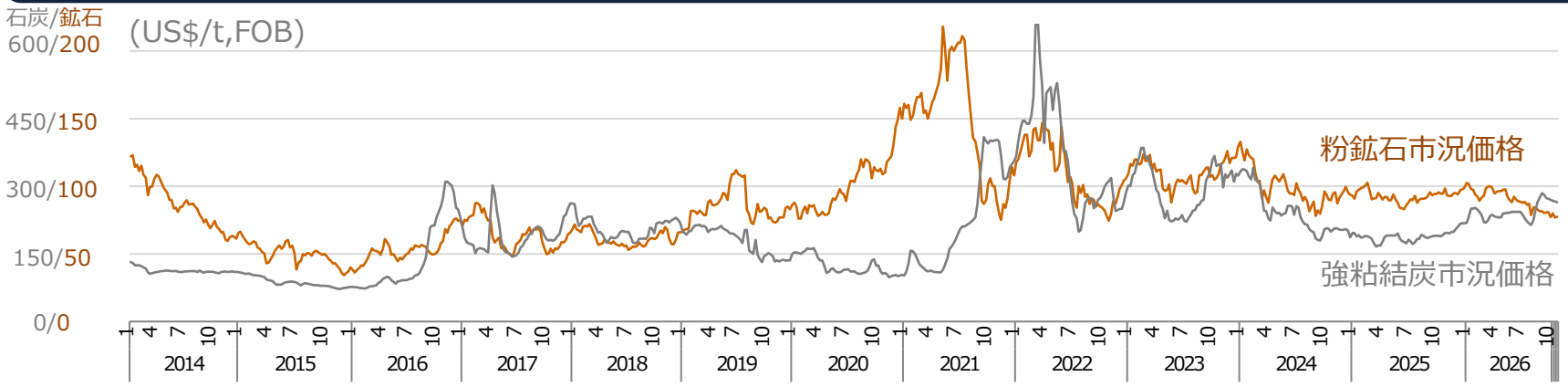
- 2025.1Q～
  AM/NS Calvert連結除外
- 2025.2Q～
  U. S. Steel連結開始（子会社）
- 2025.4Q～
  USIMINAS連結除外

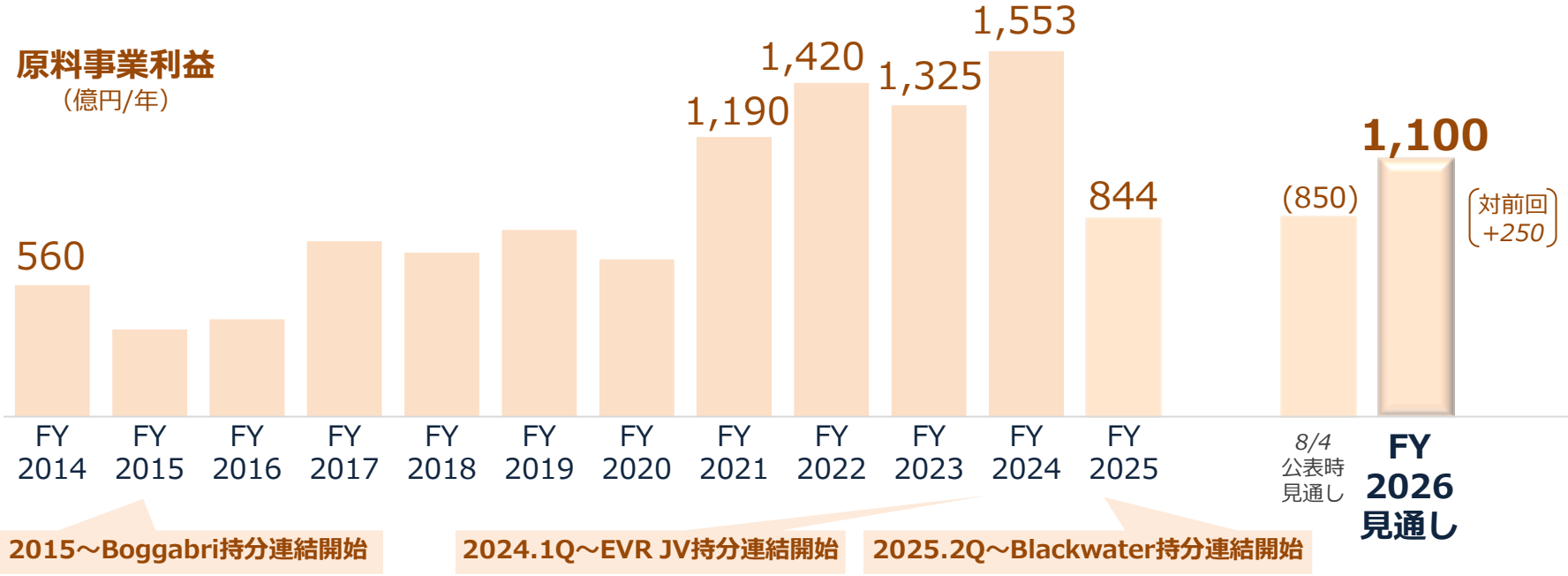
© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

海外事業
原料事業

利益推移（実力ベース）

これまでの厚みある事業構造の構築が奏功し、原料市況上昇を背景に原料事業は増益
連結収益の安定化に寄与（対前回見通し＋250億円）





© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

NIPPON STEEL

調整ページ

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

目次

１．2026年度2Q実績および2026年度見通し

２．2026年度の取り組み
（2030中長期経営計画実行状況）
・国内事業（単独製鉄事業・鉄グループ会社・非鉄３社）
・海外事業（海外製鉄事業・原料事業）

３．カーボンニュートラルビジョン2050関連

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

CNV2050

４つの課題の克服に向けた取り組み

革新技術開発・実装化、GXスチールの普及と標準化に向けて着実に取組み

技術開発	開発計画・試験	GI基金プロジェクト 高炉水素還元：試験高炉にて水素還元CO_2削減効果確認（2026年3月▽45%） **水素還元鉄製造：水素100%による低品位鉄鉱石（高炉グレードペレット）からの直接還元鉄の試験製造に成功** 次頁
投資回収の予見性	実装化	電炉プロセスへの転換工事 九州製鉄所八幡地区：基盤整備工事完了、工事着工（2026年4月） 瀬戸内製鉄所広畑地区・山口製鉄所(周南)：計画通り進捗中
	環境価値（CO_2削減）の経済価値化	CEV補助金GX鋼材使用加算措置：2026年度継続適用（2026年4月） 公共工事におけるGXスチール活用（地方自治体含む） 2026年度以降の試行工事の実施・対象の順次拡大 （2026年7月国交省発注の土木工事で試行工事が開始、一部に当社材が採用決定） 2030年以降の国及び地方公共団体で本格活用
制度化標準化	制度化標準化	日本鉄連「GXスチールガイドライン」等発行（2025年10月） worldsteelガイドラインver.1.2発行（2026年2月） ISO、GHGプロトコル、SBTi等世界標準への反映に向けて取組中
インフラ整備	インフラ整備	水素･アンモニア:政府・自治体、水素供給関係企業と連携して取組中 CCS：首都圏CCSは設計作業や貯留ポテンシャル評価実施中、 千葉県九十九里沖での試掘作業開始（2026年7月）

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

CNV2050 技術開発

水素還元関連トピックス

（2026年11月4日公表）

2026年3月から稼働開始した試験還元炉で、現行の高品位な直接還元グレードペレットより低品位な高炉グレードペレットを原料として、還元材に水素を100%使用した直接還元鉄の試験製造に成功

- 還元材は水素100%
- 高炉グレードペレットを使用

→ 水素還元時の吸熱反応に対応した最適な熱補償技術を確立

→ 低品位鉄鉱石の粉化を抑制する操業技術を確立

波崎研究開発センターの試験還元炉で安定した還元鉄製造を実現

- 連続操業300時間超を達成
- 高炉グレードペレットを原料とし、還元材に水素を100%使用した直接還元鉄を累計1,000トン超製造

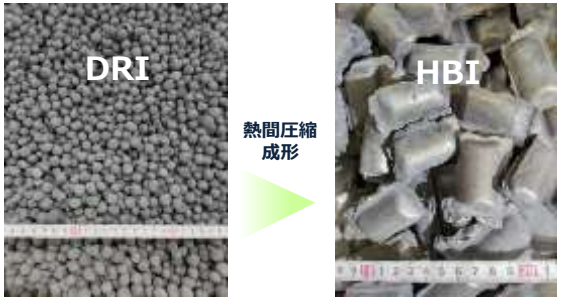
2040年頃までの実機化技術確立を目標に、 2027年度からスケールアップ技術を含めた開発を推進

実機同様のプロセスフローと設備構成で水素還元-冷却-成型まで一貫評価

試験還元炉
- シャフト炉型
- 生産能力　1t/h
- 敷地　約80m×200m
- 高さ　約60m
  （実機炉：約100～150m）



試験還元炉で水素還元により製造した還元鉄



- DRI: Direct Reduced Iron（直接還元鉄）
- HBI: Hot Briquetted Iron（熱間成形還元鉄）

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.

NIPPON STEEL

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

© 2026 NIPPON STEEL CORPORATION All Rights Reserved.